

平成 27 年度 社会福祉法人 誠真会 事業計画

【方 針】

地域医療構想と地域包括ケアシステムの政策が推進し、医療、介護、福祉を取り巻く環境は大きな変革期を迎えています。

昨年度は訪問介護事業の 24 時間対応をはじめ在宅サービスの充実を図るため職員の増員を行いました。またグループホームの入居率 80%と伸び悩み、その為、厳しい経営状況となりました。桑名市が推進する地域包括ケアシステムに伴い介護と医療の連携強化と経営健全化を含め、訪問介護事業の法人変更と居宅介護支援事業所の移転統合し効率化を進めます。

多くの人は、家族と地域社会とのつながりを保ちながら、住み慣れた自宅や地域で暮らし続けることを望んでいます。その為には、地域において、介護をはじめとする生活全般を支援する体制が必要です。介護、福祉、医療の連携と機能を強化し、地域に根ざした介護・福祉システムの確立を図っていきます。

【目 的】

利用者の人格を尊重し、常に利用者の立場に立ったサービスを提供し、地域との交流をはじめ、家族、関係機関、ボランティア等と協力しながら利用者が尊厳をもって地域で暮らすことができるような環境を目指す。

【内 容】

(1) 人材不足の課題と対応

超高齢社会と人口減少を迎え、人材不足は今後さらに深刻化することが予想され、当法人としても人材確保は大きな課題である。

人材確保対策の 1 つとして、女性が働きやすい職場環境を目指して、短時間勤務制度の取入れや提携している保育園の対応の拡大を図っていききたい。

また、人材の有効活用としてパート職員の勤務体系の多様化を図る。

(2) 利用者の確保

昨年度、グループホームの入居率 80%と伸び悩みました。今年度は入居率 95%を目指し、安定した利用者の確保のため、各関係機関への営業に努め、また月 1 回の営業会議を開催し、営業活動の報告と今後の営業活動の方針を検討し活動をしていきます。

(3) 施設環境の見直し

施設は利用者にとって毎日を過ごす場所である。その生活環境は安全で快適でなければならない。現状の施設環境を再検討し、利用者により良い生活とケアを支援する環境づくりを目指します。

(4) 医療連携の強化

利用者の健康管理については、隣接する看護師と連携し日常的健康管理を行い。訪問診療については在宅療養支援診療所の佐藤医院と連携を図り、病状の変化に早急に対応する為、入所者様の訪問診療を2回とし、利用者が重度化し看取りケアの必要が生じた場合等における対応として24時間医師が訪問できる体制とする。

(5) 安全対策への取り組み

事故を未然に防ぐために、利用者のADL維持を援助すると共にADLに適した環境の整備を心がける。また災害対策についての取り組みとして、防火、地震対策の重要性を再認識し、災害に対する意識を高め、マニュアルの再点検、定期的（月1回）な訓練を実施いたします。

(6) 職員の資質の向上を目的に研修を行う。

- ・認知症に関する研修
- ・介護職員として接遇の研修
- ・感染症予防に関する研修
- ・安全対策に関する研修

上記以外に、合同研修や各事業所で各職員に応じた外部研修を計画します

(7) 年間行事予定

季節にあった行事を企画する（四季を通じて、できる限り外出をする）

また隣接するみどり保育園の園児と共に行事を行い園児と高齢者の交流を図る。

（スケジュールについては別紙参照）

(8) 地域福祉への寄与

桑名市が推進する地域包括ケアの構築について、当施設もその役割を担い、地域から必要とされるように、地域と連携を図り、地域福祉の発展に努める。

(9) 資源の節約

環境保全のために省エネルギーを心がけ、省資源と運営費削減に努める。

- ・FAXなどは、必要な書類に関してのみ印刷し無駄な紙を省きます。
- ・精細な室温管理を行い、過度なエアコン利用を防止します。
- ・電気機器、器具は、使わないときは電源プラグをコンセントから外して無駄な電力防止に努めます。